

上北教育事務所だより

Vol.54
令和8年3月2日発行



令和7年度もお世話になりました。
所員一同、謹んでお礼申し上げます。
ありがとうございました。

令和7年度を振り返る



所長 佐藤 真理

今年度も各学校の皆様には学校訪問で大変お世話になりました。子どもたちが生き生きと学びに向かう姿に力をもらい、また、先生方の創意工夫の詰まった授業に感動する場面も多々あり、特にグループ学習では冒頭から活発な意見交換が交わされるなど、子どもたちに話し合いで問題解決に向かうことが身に付いてきていることを実感しました。今後も少子高齢化社会が進行することが見込まれ、5年先10年先の世の中がどうなっているのなかなか見通すことができない状況下ですが、このような時こそ人と人の繋がりは欠かすことのできないものであり、様々な人との繋がりを体験し、共に助け合える仲間や先生、家族、そして地域の方などがいるということを実感できる経験は社会の中で生きがいを持って生きていくためにきっと役に立つことであると思います。上北教育事務所としてもこれからも学校に寄り添い、先生方の頑張りを応援していきます。

次長 依藤 晶

中教審教育課程企画特別部会の論点整理により、次期学習指導要領に向けた基本的な考え方が示されました。

①「主体的・対話的で深い学び」の実装 ②多様性の包摂 ③実現可能性の確保の三つの方向性を踏まえて議論が行われるとのこと。個人的には③に注目しており、余白づくりは待ったなしの課題です。余白の少ない状況の中、所長訪問では、子どもたちが「やってみたい」「考えたい」と思う授業をつくりだす先生方の姿や、実際に、子どもたちが学びに没頭する姿を拝見することができました。先生方の御尽力には本当に頭が下がります。学習指導要領の改訂を待たずして行うべきこととして、行政も現場もアイデアを出し合い、できることから積極的に余白づくりを進め、子どもも大人も本当に大切なことに没入できる、そんな令和8年度にしたいと思っています。



初任者研修
「まとめ研修」

2/19
七戸町総合アリーナ



各学校の皆様にご協力をいただきながら令和7年度の初任者研修が終わりました。

「示範授業研修」では、三沢市立岡三沢小学校・三沢市立第二中学校、「特別活動研修」では、十和田市立南小学校・十和田市立十和田中学校の先生方に御協力いただき、とても充実した研修成果を得ることができました。また、「一般授業研修Ⅰ・Ⅱ」では、助言者の丁寧な指導のもと、単元構成や授業の工夫を学び、実践に生かしていました。初任者への指導に御協力いただいた多くの先生方のおかげで、27名が採用初年度を大きな成長とともに終えることができました。4月からは、自ら学びの機会を求め、最良解となる教師像を求めていく道なのです。

2年目においても皆様から厳しく温かい励ましと御指導をどうぞよろしくお願い致します。

初任者研修全日程終了

祝
受賞者紹介



宮内 善浩 氏 (三沢市車いすテニス協会会長)
「障害者の生涯学習支援活動」に文部科学大臣表彰

車いすテニス体験会や大会の開催を通じて、運動機会が少ない参加者に対して運動機会ならびにテニス技術の習得機会を提供してきました。令和5年度に三沢市の協力を得て、三沢市車いすテニス協会を設立し、障害をもつ人たちの生涯学習活動の環境づくりにも尽力しています。また、各種国際大会にも帯同するなど、車いすテニス界の発展に寄与しています。



石山 宏一 氏 (三沢市立上久保小学校校長)
全国視聴覚教育連盟「視聴覚教育功労者」

青森県総合社会教育センターの委嘱を3度受け、3作のマルチメディア郷土学習教材を作成され、教材は県内の小中学校で広く活用されました。また、平成14年度から同20年度まで公立上北視聴覚ライブラリーIT事業の指導者講習会の講師として、地域で活躍する人たちが教職員のITスキルの向上に貢献されました。

重点2 道徳教育の充実

小・中学校道徳教育
研究協議会

11/14
東北町立上北中学校
参加者54名
満足度100%



道徳科における実践的指導力の向上を目指し、研究概要説明(村口明子先生)、授業公開(温水凜太郎先生)、研究協議を実施しました。参加者は発問や問い返しから多くの学びを得ました。

※文部科学省「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」の研究指定校である東北町立上北小学校、上北中学校の取組は、「報告集」(今年度末に各校へ配布予定)でご覧いただけます。

重点4 体育・健康教育の充実

冬季学校体育実技
(スケート)講習会

12/25
テクノアイスパーク八戸
参加者47名
満足度100%

青の煌めきあおもり国スポ出場選手を含む講師陣による丁寧でわかりやすい指導のもと、実施上の安全面への理解を深めるとともに、子どもたちが楽しみながら学べる指導の在り方について実感を伴いながら研修する機会となりました。研修で得た学びを今後の指導に生かしたいという声が多く聞かれました。



重点(社会教育)1-1

放課後児童対策に係る
支援員等研修会(後期)

10/28
七戸町総合アリーナ
参加者149名
満足度98.0%



すぐに使える遊びのバリエーションについて研修しました。講師の深澤准教授(岩手大学)からは、「おとなは子どもにも『提供』するより『提案』できる存在でありたい」というお話がありました。参加者からは「遊びの考え方が変わった」という感想も聞かれました。「放課後の遊びはこどものこころからたを育みます！」